

# 民間療法は有益か

賛成意見 伊藤 遼

## □ 民間療法について

民間療法とは、代替医療のひとつであり、その代替医療とは、病院での正規の医療または科学的に効果の証明された医療以外の医療のことです。代替医療は、補完医療・代替補完医療(CAM)などとも呼ばれています。日本では、代替医療に対して、医療保険が適用されないなど、正規の医療との区別がなされています。

## □ 主張の前提

はじめに、代替医療のすべてが詐欺まがいのものではない、という点です。病状に対して効果がないことが明らかな治療法や食品を、高額で売りつける業者はたしかにいますが、それらが代替医療のすべてではありません。代替医療によって、心の平安を得る人がいるのも事実です。実際、アメリカやオーストラリアでは、このような点で代替医療の意義は積極的に認められつつあり、アメリカの各大学には代替医療の講義を行う医学部が70以上あります。

次に、代替医療は、科学のさきがけになりうる、という点です。これはつまり、現在は科学的に効果を実証されていなくとも、今後実証されて科学として認められる可能性があるということです。たとえば日本では1976年に、ある漢方のエキスの効果が実証され、そのエキスを健康保険が適用されるようになったという例があります。

## □ 結論

代替医療すべてに問題があるのではなく、詐欺目的の療法と誠意ある療法とを見分けることが重要だと思います。そして誠意ある代替医療は、病を抱える人々の心のよりどころとなったり、現代科学の先さきがけとなったりすることができます。このような点で、代替医療あるいは民間医療は有益だとも思います。

参考HP

[http://www.reitaku-u.ac.jp/koho/new/2003/dlt\\_info030902/07.htm](http://www.reitaku-u.ac.jp/koho/new/2003/dlt_info030902/07.htm)

橋谷 圭伊子

癌治療における代替療法

～代替療法がこれまでの医療を変える！～